

科目		単位 (時間数)	時期	講師名 (職名) (時間数)	
※ 助産臨床推論		2 (45)	1 学期	① 教育主事 (助産師) (30)	
				② 教員 (助産師) (7)	
				③ 院内講師 (助産師) (4)	
				④ 院外講師 (助産師) (4)	
目 標					
臨床推論の基礎を学び、周産期における母子の判断に必要な思考力を修得できる。					
回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	助産臨床推論 総論	1) 助産臨床推論 総論 ・臨床推論モデル ・臨床推論の3ステップ 系統的情報集、スピードとトレンド ・疾患論アプローチ、症状論アプローチ ・疾患スクリプトの発達	講義	①
2	2	周産期の臨床 推論 妊娠・分娩編	2) 妊娠期の臨床推論 ・下腹部痛 流・早産、異所性妊娠、常位胎盤早期 剥離、子宮破裂	講義	
3	2		・呼吸困難 肺水腫、肺塞栓症、羊水塞栓症、周産 期心筋症	講義	
4	2		・頭痛、意識障害 子痛、脳出血、PRES、HELLP 症候群	講義	
5	2		・性器出血 (妊娠初期、中～後期) 切迫流・早産、前置胎盤、常位胎盤早 期剥離	講義	
6	2	分娩期の臨床 推論	1) 分娩期の臨床推論学習プログラム ①第1段階 (知識整理) 【事例1】 初産婦、前期破水 ・因子判別、入院時診断、初期プラン ・初期診断 ・パルトグラムの記載 ・リフレクション	講義 GW	①
7	2				
8	2		②第2段階 (臨床思考) 【事例2】 経産婦 ・電話場面における臨床推論と対応 ・来院場面における臨床推論と入院 判断 ・初期診断とケアプラン ・リフレクション	講義 GW	
9	2				
10	2		③第3段階 (統合) 【事例3】 -シミュレーション- 経産婦、早期破水	演習 GW	

11	2		<ul style="list-style-type: none"> ・分娩進行の判断と診断修正 ・CTG判読 ・分娩準備の判断、応援要請 ・パルトグラム、助産録の作成 ・リフレクション 		①
12	2		<ul style="list-style-type: none"> ④第4段階（応用）【事例4】 初産婦、回旋異常、微弱陣痛 加速期遷延 ・分娩進行の判断と診断修正 ・医師への報告タイミング、SBAR報告 ・陣痛促進剤の使用時の管理 ・リフレクション 	講義 GW	
13	2				
14	2	分娩期の臨床推論	分娩進行の評価（内診学習プログラム第3段階） ・初期診断後の進行評価（シミュレーション） 内診による評価時期（事例4）	演習	
15	2		・入院時の助産診断（初期診断） 記述	試験	
16	2	周産期の臨床推論 産褥編	1)産後にみられる症状と考えられる疾患、観察と判断視点、対応 ①疼痛 （外陰部血腫、恥骨離開、静脈瘤）	講義 GW	②
17	2		②発熱 （産褥熱、乳腺炎、A群溶連菌感染症）	講義 GW	
18	2		③不眠、流涙 （マタニティブルー、産褥うつ）	講義 GW	
19	2	新生児期の臨床推論	1)生後24時間以内に見られる症状と考えられる疾患、観察と判断視点、対応 ①呼吸障害 ②黄疸 ③けいれん	講義 GW	③
20	2				
21	2	新生児仮死の評価と蘇生法（NCPR）	2)新生児仮死蘇生法の実際（演習） 新生児仮死の評価と蘇生法 （NCPR Aコース受講）	講義 演習	④
22	2				
23	1	筆記試験（45分）		試験	②
授業形態	講義				
評価方法 点数配分	筆記試験40点（分娩期初期診断記述）（講師①） 筆記試験60点（臨床推論）（講師①20点、講師②20点、講師③20点） 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。 *筆記試験、技術試験をそれぞれ合格することで単位認定する。				
テキスト	講師①：助産学講座5・6・7 講師②：助産学講座7・8 講師③：助産学講座8、新生児学入門 講師④：日本版 救急蘇生ガイドライン2020に基づく新生児蘇生法テキスト				
参考図書等	<ul style="list-style-type: none"> ・マタニティ診断ガイドブック ・助産業務ガイドライン2024 「正常分娩急変時のガイドライン」 ・助産雑誌 2024 vol.78 no.1～6連載、2026.vol.80 no.1～ 「助産師の臨床推論を学ぼう！」 				

備考	<ul style="list-style-type: none">・講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。・NCPR A コース受講後、申請により「NCPR A コース修了認定証」が付与される。 ※この科目は実務経験のある教員による授業科目である。
----	---